

市立小学校における防火防煙シャッターの事故について

1 事故の概要

平成 27 年 12 月 1 日 (火) 午前 10 時 12 分頃横浜市立山王台小学校で、防火防煙シャッター (以下「シャッター」という。) に児童が挟まれる事故が発生しました。

(1) 事故発生の状況

避難訓練終了後、校庭にいる児童が来る前にシャッターを上げようとした技能職員が、降りているシャッターAを操作するつもりで、誤って降りていない隣のシャッターBを操作。ハンドルが重くて回らないため、児童を引率してきた担任教諭に操作を依頼。

担任教諭は、児童を廊下に待機させ、ハンドルを何回か回したところ、シャッターBが落下。シャッターの下にいた児童一人が背中を強打し、重症を負ったものです。

(2) シャッターの概要

- 仕様 幅：3.15m、高さ：2.6m 重量：約300kg、設置：昭和55年
煙感知により自動で降下、下部手動ハンドルで巻き上げる方式
挟まれ事故を防ぐための危害防止装置は未設置
- 点検 業者委託により年2回実施。平成27年9月の点検では異常なし
- 確認 事故後、警察がシャッターを確認したところ、ワイヤーが切れていることが判明

2 被害児童の状況

(1) 被害児童

6年生女子 1名

(2) 被害の状況

事故後直ちに救急搬送。背中を強打し、骨折2か所等の重傷。現在、入院加療中。

3 児童等への対応

(1) 当該校へのカウンセラーの派遣

児童等の心のケアのため、12月2日から学校へカウンセラーを派遣

(2) 保護者への説明

12月4日、保護者説明会を開催し、学校長から事故の状況等を説明

(3) 被害児童の保護者への説明

12月6日、学校長より被害児童の保護者に改めて謝罪し、現場にて事故の状況を説明

4 施設等安全確保への対応

(1) 安全確保の周知

12月2日(水)に緊急通知、12月8日(火)に総合的な安全確保対策を全校に通知

(2) 点検等の実施

12月6日(日)山王台小の残り10台のシャッターについて、業者による緊急点検を実施

(3) シャッターのワイヤー交換

当該校の10台のシャッターは、直ちにワイヤーを交換。当該校以外でも同様のシャッターは、全て早期にワイヤーを交換

(4) 「危害防止対策」の取組

「挟まれ事故」防止のための「危害防止装置の設置」の取組を強化

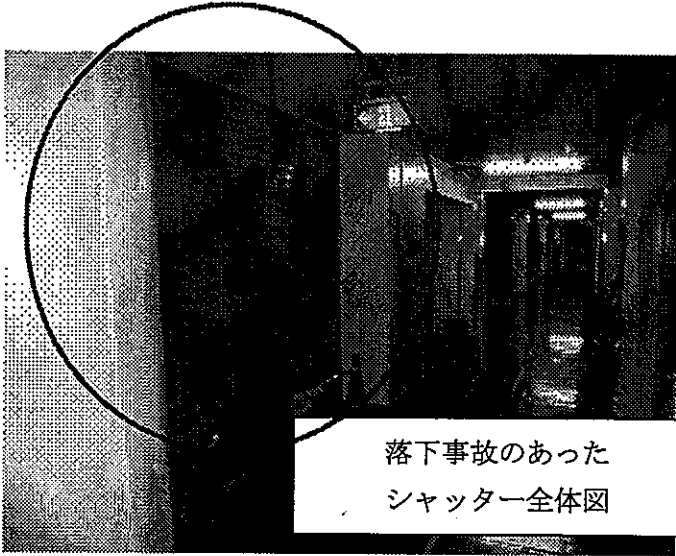
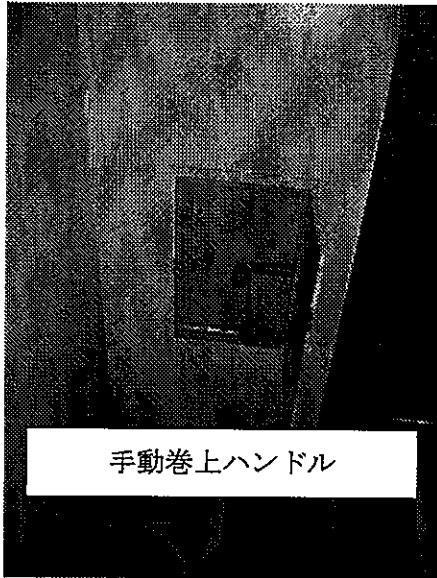
5 事故原因等の検証

(1) 事故原因調査

現在、事故の詳細な原因について警察が捜査中

(2) 防火防煙シャッター事故調査・再発防止検討会

教育次長をトップとした「防火防煙シャッター事故調査・再発防止検討会」を設置し、シャッターの安全性の確保や、落下事故等の再発防止に向けた取り組みを検討



・現場拡大図

